（様式⑦-1　小学校・中学校）

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ　学校力向上プラン【学校評価計画書】

中学校区におけるめざす子ども像
自ら学びあきらめずに問題解決する子

堺市立野田中学校
校長　長畠　良憲

令和6年度　重点目標
「のだおんせん」
の：子どもの**の**うりょくを伸ばし　だ：**だ**れひとり取り残さない　お：**お**互いを認め合い　ん：み**ん**なで創りあげる　せ：**せ**いとファーストの　ん：じ**ん**権感覚あふれる学校

確かな学びの現状

・全体としては基本的な学習（授業態度・意欲、家庭学習の課題の提出ほか）や基礎的な学力を身につけている生徒は多い。一方、学習意欲に欠ける生徒や特別な支援を要する生徒(増加傾向にある)に対する適切な支援が毎年の課題である。
・野田中スタンダードを見直し、指導の基礎を共有し、主体的な学びをめざすとともに、生徒理解に努める姿勢を育む。
・発展的な学習を支援すべき生徒と理解に時間がかかる生徒に対する個別最適な指導を効果的に行うことが課題である。ICTの活用や家庭学習への指導助言などを通じて、効果的な学びを進める。
・現行のグランドデザインを基にした9年間を見越した取組を見直し、新しい学校のあり方に基づく「野田学校群」に向けての研究を進める。

豊かな心・健やかな体の現状

・道徳科の授業において、よりよく生きることについての学びを深める必要がある。
・いじめ（人権）については、絶対にいけないと思っている生徒の割合が全国平均よりも高い。一方で、他者への尊重に欠ける言動もみられる。教育活動全体を通じた人権教育を深化させ、人権感覚や人権意識の向上につとめる。また、生徒会活動などを通して、コミュニケーション力を持った生徒の育成に努めたい。
・どの学年も運動好きな生徒が多く意欲的に取り組んでいる。保健体育の授業では，毎時間筋力トレーニングを行い，３学期に行う持久走では持久力の向上と自分の心に負けない頑張り続ける精神力をつけたいと考えている。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 （●重点とする取組　★中学校区での取組）	判断基準 （評価のものさし）	評価方法	評価時期	進捗確認 （～10月）		達成状況(年度末) 自己評価		学校関係者評価	
確かな学び	知識・技能	基礎基本の確実な定着 自学自習力の育成	★学力の定着を図るため、定期テストや単元テスト等をきめ細かに行い，結果分析をとおして基礎学力の定着をすすめる。	度数分布 基礎基本の正答率	テスト結果等 学習成績，アンケート等	前期 年度末	△	単元テストの実施などについては、継続して検討が必要				
			・家庭学習の定着に向けた指導、工夫及び啓発を進める。（課題の在り方見直しや復習の定着を図る）	課題の提出率 アンケート回答の肯定率(80%)	課題提出状況等	前期 年度末	○	概ね予定通りに進んでいる				
	授業改善	わかりやすく楽しい授業の創造 ●野田中スタンダードの実践 （教科・単元等に応じて） 個に応じた指導方法の工夫と改善	★指導方法、教材等を工夫改善し共有する。 ●各学年で，授業を公開・参観し、討議会の実施・意見の交換を行う。	すべての教員が(公開授業・参観)を実施する。アンケートの肯定率(80%)	テスト結果 アンケート等	前期 年度末	○	授業の公開等は、予定どおりである				
			●少人数指導について、実施単元、方法及び教材について工夫改善する。また、成果を定期的に考察し、指導へと活かす。	アンケートの回答（80%）	テスト結果 アンケート等	前期 年度末	○	適切に実施しており、きめ細かな指導に役立っている				
		ＩＣＴを活用した個別最適な学びの実現	・授業を中心としながら、多くの場面でのタブレット活用法を研究し、適切かつ効果的に活用する。	アンケート回答の肯定率 （80%）	実施実績 アンケート等	前期 年度末	△	使用率は高まってきたが、有効な使用方法については、今後も研修等が必要				
豊かな心・健やかな体	生活習慣の改善と確立	基本的な生活習慣の確立 ●課題のある生徒への支援の推進 基本的生活習慣を整えるとともに、体力の向上を図る。	●あいさつの励行　・清掃の徹底を目標に取り組む。 ・遅刻への指導　・授業への集中	実施実績	アンケート実態把握調査数値等	前期 年度末	○	概ね予定通り進んでいる				
			・生徒理解にもとづくきめ細かな働きかけを行う。 ・保護者、スクールカウンセラー、関係諸機関との連携を進める。	実施実績	生徒指導委員会総括等	前期 年度末	○	SCやSSWとも連携し、生徒理解や対応について「チーム学校」の取組を進めている				
			・早寝早起き、朝ご飯を合言葉に、規則正しい生活への自覚を促す。 ・学習規律を高め、運動量の増加、効率の良い授業になるよう工夫する。	遅刻者数の減少 体力テストの結果	アンケート等	前期 年度末	○	概ね予定通りに進んでいる				
	心の教育	自尊感情を高め 思いやりの心を育てる	・教育活動全体を通じて行う道徳教育を深化、充実させる。 ・いじめは絶対ダメ！を言動に移せるよう、人権教育を組織的に、かつ、教育活動全体を通じて行い、生徒のみならず教職員を含めた人権感覚及び人権意識を高める。	アンケート回答（80%） 実施状況	アンケート等	前期 年度末	○	人権教育については、障害者理解など個別の人権課題に関する理解に取り組んでいる。				
			★新しい学校のあり方を踏まえ、小中職員が連携し、めざす子ども像の実現に向け、指導方法の工夫改善を進め、合同の研修を実施する。	実施実績	実施状況 アンケート等	前期 年度末	○	特別の教科　道徳を中心に、授業改善に向けた研究体制を築きつつある				
連携	開かれた学校	★小中連携 地域との連携	校区青少年健全育成協議会と連携し、中学校を核とした行事を通してコミュニケーションを深める。	実施実績 アンケート回答（70%）	各種総括会議意見等	前期 年度末		今年度は「野田っ子まつり」が実施できず、評価が難しい				
			・学校教育活動について、意見聴取の場を設ける。 ・ホームページ等で学校・地域情報を発信する。また、積極的に学校の教育活動見学の機会を設ける。	アンケート回答（90%）	アンケート	前期 年度末	○	自治会等でも、学校の報告を適切に行っている				

校長より(年度末)

学校関係者評価者から(年度末)